

2022年6月20日

各位

株式会社ヤマダホールディングス

社会課題解決へのヤマダの取り組み

ご来店くださるすべてのお客様が快適に店舗で過ごされ、  
お買い物を楽しんでいただくために！

## ヤマダデンキ全店舗の男性トイレ個室に 「サニタリーボックス」を順次導入します

株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役会長 兼 社長 CEO：山田昇）は、株式会社ヤマダデンキ（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長：上野 善紀、以下、ヤマダデンキ）において、ご来店くださるすべてのお客様が快適に店舗で過ごされ、お買い物を楽しんでいただくために、男性トイレ個室に「サニタリーボックス」を7月1日（金）より順次導入し、年内までに全店舗に設置を完了いたします。

昨今、前立腺がんやぼうこうがんの治療や加齢により、尿漏れパッドや大人用のおむつを着用されている方が、外出時にパッドやおむつの捨て場所にお困りになる場合があります。ヤマダデンキでは、こうしたお困りごとを解決し、お客様に店舗で快適にお過ごしいただき、お買い物を楽しんでいただきたいと思います。尚、このボックスがある個室のドアに張り紙をして分かるように施し、男性用トイレを使用される性的少数者（LGBTQ+）の方が生理用品を捨てる際のご利用も想定しています。



◀「家電住まいる館 YAMADA 岡崎本店」にて  
店舗従業員が自発的に設置したサニタリーボックス

※これを参考に、最適な大きさ、表示方法を検討した後、  
全店舗に導入いたします。

この度の全店舗設置については、2021年7月に発足したヤマダホールディングスグループの有志の従業員による「SDGs ひろめ隊」のチャットルームでの情報共有や意見交換、自発的な店舗設置を見て導入決定に至りました。

「SDGs ひろめ隊」は、全国の店舗や本社従業員からなるメンバーで、SDGs 目標達成に向けた課題解決という視点での業務フロー改善案や日常生活での取り組み等を共有し、会社として、個人としてできることについて情報共有がなされる等、活発に活動しています。

ヤマダホールディングスグループは、今後も、SDGs 目標達成に向けた社会課題を「自分ごと」と捉え、会社として、個人として、できること、やるべきことに真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

SDGs17のゴール  
“5.ジェンダー平等を実現しよう”  
“6.安全な水とトイレを世界中に”  
目標達成に向けて

以上

【発行元】株式会社ヤマダホールディングス 経営企画室 広報課  
電話：027-345-8947 FAX：027-345-8948 E-mail：ymd\_kouhou@yamada-denki.jp

---

上記記載の情報は、2022年6月20日現在の情報であり、今後予告なしに変更されることもありますので、あらかじめご了承ください。